

ひろの 議会だより



もうすぐゴール!! (幼稚園運動会)

P2

平成29年度決算・83億円の成果を認定

P8

こんなことが決まりました (9月補正)

P12

安心・安全な取り組みを 8議員が町政を問う (一般質問)



QRコードを読み込むと議会の情報を見ることができます。

No.139

平成30年10月19日発行
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

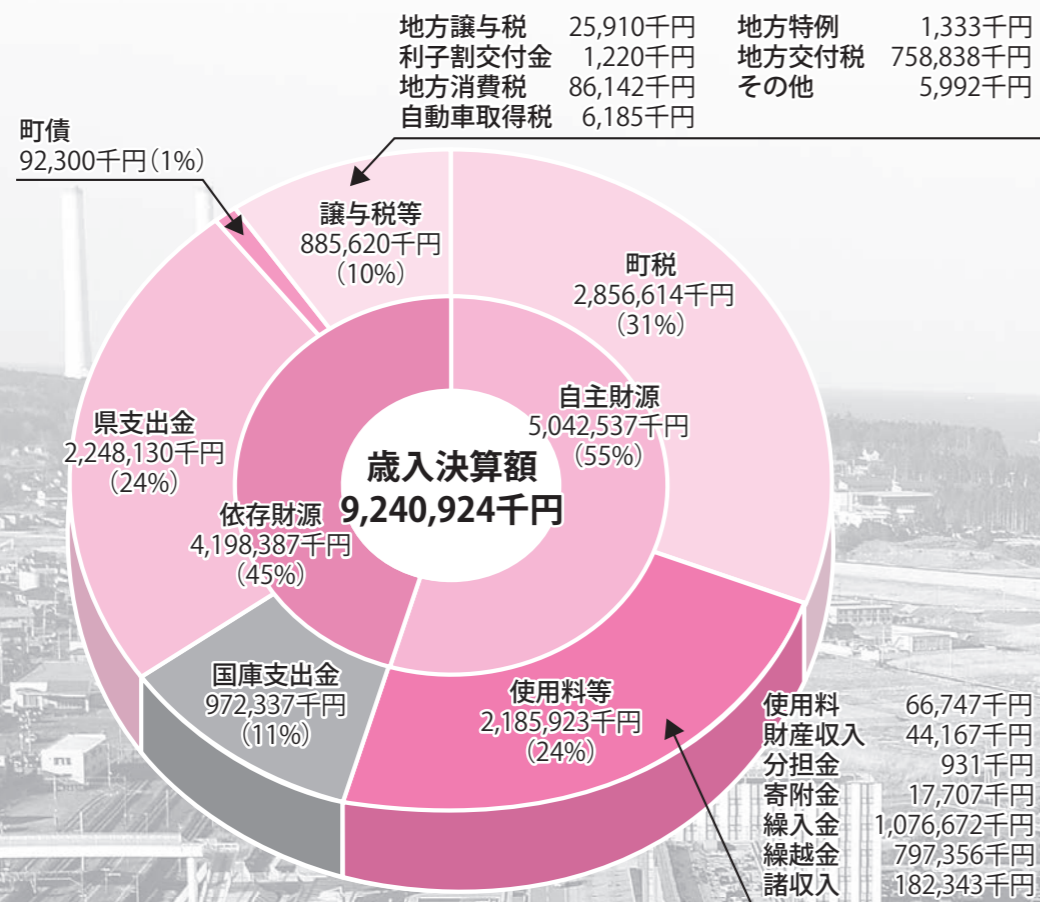
83億円の成果を認定

平成30年9月定例会を9月11日から14日までの会期で開きました。

今回は、平成30年度一般会計及び特別会計補正予算案など、提出された16議案を慎重に審議し、すべて原案どおり可決しました。

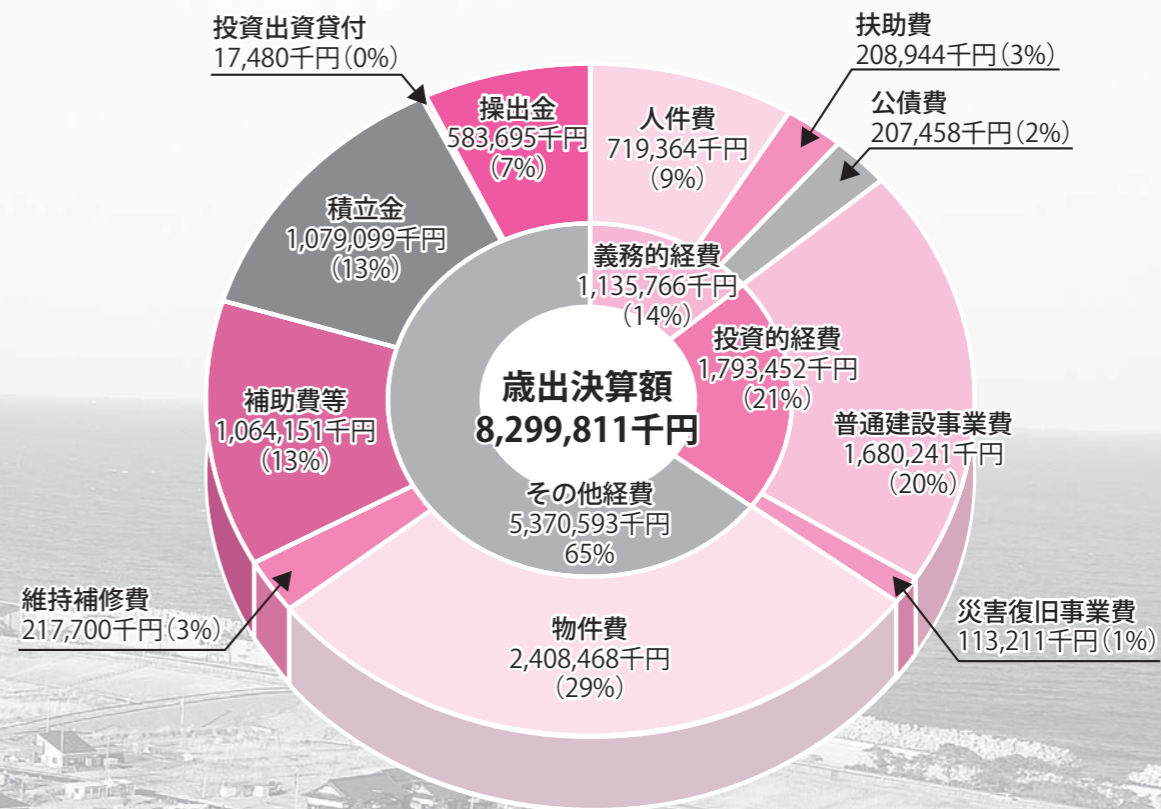
また、9月定例会は、決算議会でもあり、平成29年度一般会計及び6つの特別会計を認定しましたが、町税の減収、今後の財政運営や収入未済額の縮減に向けた取り組みなどの改善や要望を求める意見が相次ぎました。

なお、一般質問では、8人の議員が、それぞれ町の対応や考えをいただきました。



地方譲与税 25,910千円
 利子割交付金 1,220千円
 地方消費税 86,142千円
 自動車取得税 6,185千円
 地方特例 1,333千円
 地方交付税 758,838千円
 その他 5,992千円

使用料等 2,185,923千円 (24%)
 使用料 66,747千円
 財産収入 44,167千円
 分担金 931千円
 寄附金 17,707千円
 繰入金 1,076,672千円
 繰越金 797,356千円
 諸収入 182,343千円

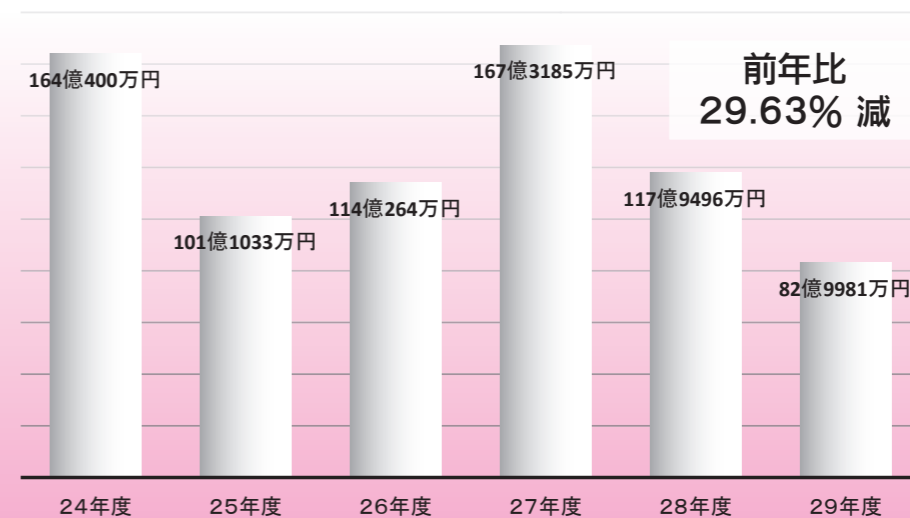


各会計の決算状況

(単位：円)

会計別	予算現額	決算額		歳入歳出 差引額 (形式収支) (A)	翌年度へ 繰り越すべき 財源 (B)	実質収支 (A) - (B)
		歳入総額	歳出総額			
一般会計	9,223,782,080	9,240,923,571	8,299,811,389	941,112,182	288,261,000	652,851,182
特別会計						
国民健康保険	1,109,132,000	1,118,064,436	1,036,116,841	81,947,595	0	81,947,595
土地開発事業	262,714,000	263,800,999	254,832,504	8,968,495	0	8,968,495
公共下水道事業	393,311,000	380,250,116	334,128,744	46,121,372	0	46,121,372
農業集落排水事業	33,518,000	34,264,943	30,468,859	3,796,084	0	3,796,084
介護保険	500,301,000	501,075,178	471,321,980	29,753,198	0	29,753,198
後期高齢者医療	18,024,000	18,427,612	17,555,239	872,373	0	872,373
小計	2,317,000,000	2,315,883,284	2,144,424,167	171,459,117	0	171,459,117
平成29年度決算額	11,540,782,080	11,556,806,855	10,444,235,556	1,112,571,299	288,261,000	824,310,299

過去6年間の一般会計歳出決算の推移



広野駅東口広場整備



広野駅の東口広場に、バスやタクシーの乗降場や駐車場の整備、また水路や植木等を配置して、憩いのスペースとなるよう整備工事を行いました。
整備面積：5,685㎡

1億
5,400
万円

広野小・中学校へ通学する児童生徒のスクールバスを運行しました。



スクールバスの運行

1億
5,073
万円

プレミアム付事業再開



6,634
万円

地域経済の活性化と住民の帰還へのきっかけとする事業に取り組みました。
券販売数：12,069冊
券利用額：180,450千円

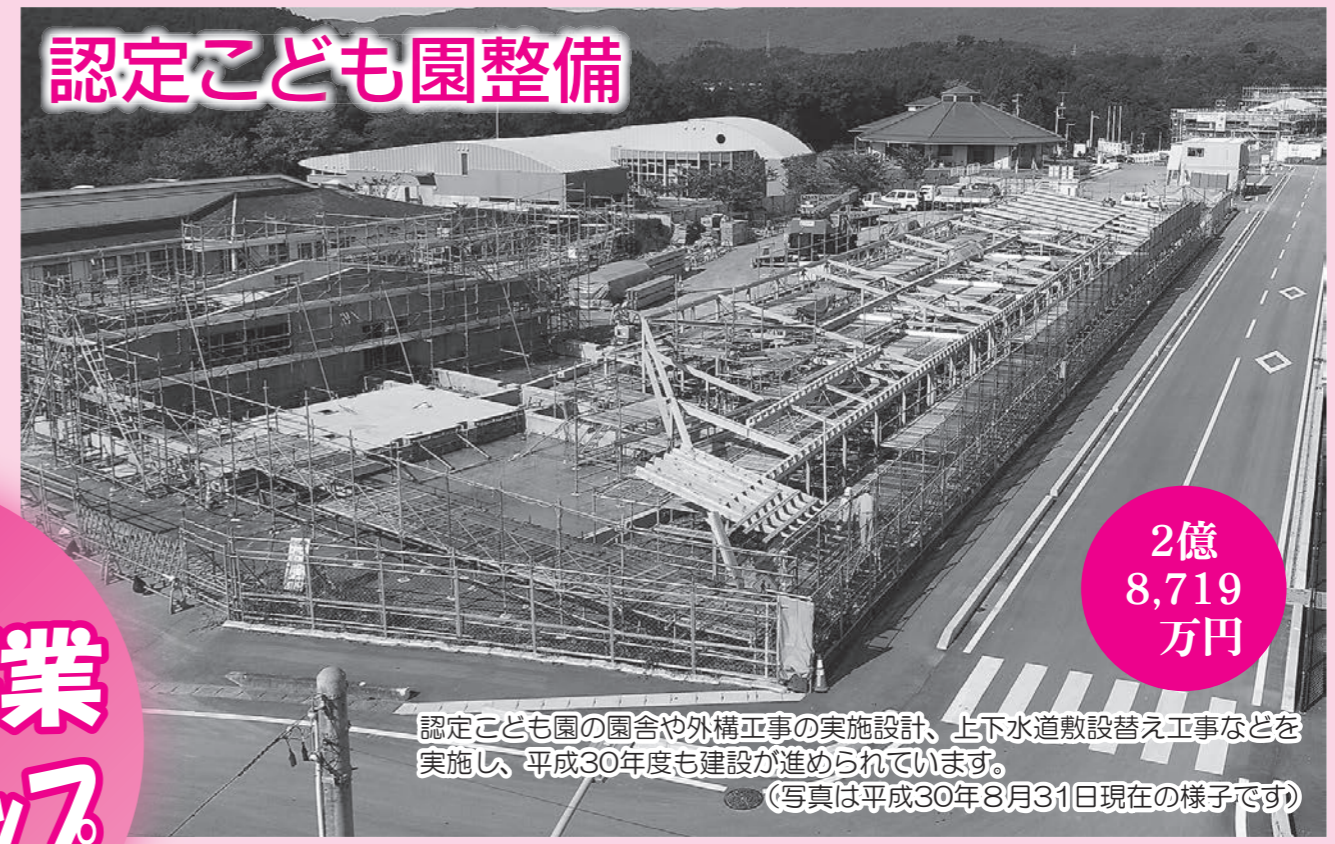
注目事業
ピックアップ

29年度 決算

予算が適正に執行されたか、定例会で慎重審議し、すべての会計決算が認定されました。
その中で、議会が注目した主な事業を紹介します。

決算額は、29年度のみのものであり、全体事業費ではありません。複数年事業のものもあります。

認定こども園整備



2億
8,719
万円

認定こども園の園舎や外構工事の実施設計、上下水道敷設替え工事などを実施し、平成30年度も建設が進められています。
(写真は平成30年8月31日現在の様子です)

浅倉橋橋梁整備



1億
7,612
万円

中央台・山の神線浅倉橋が完成しました。

復興道路の整備を実施しました。
長さ：501.0m
幅：5.5m (歩道含む9.0m)



久保田1号線道路新設舗装

5,065
万円

決算

質疑



一般会計

除染対策費

除染の成果は

小磯利雄議員

敷地内20mなどの範囲内において、基準を超えているエリアは全て事業実施し、完了したのか。
また、ため池放射性物質対策事業事業を行なった地名は。
西の沢ため池の湖底や、湖底に至るまでの水路の調査は、水位を下げて集中的に調査をすることはできないのか。

猪狩環境防災課長

計画どおり実施しています。
また、灰作地区、亀ヶ崎地区、折返地区、二ツ沼、下北地区の2カ所と東原地区のため池で実施しました。
県の基準により、13カ所が認められたところで、残りの部分について、国へ要望しています。現在できない現状となっており、今後要望していきたいと思えます。

看板作成委託料

看板を設置して周知せよ

渡邊正俊議員

ポイ捨てが多く見られますが、町にはポイ捨て条例があり、罰金等も定められている。それらを周知すべく看板をもっと設けたらよいのではないか。

猪狩環境防災課長

本年度においても啓蒙看板の予算を取り、犬猫のフンの後始末、ポイ捨て禁止の看板の発注を行っているところです。
今後の予算有効活用等、補正予算等で対応していきたいと考えています。

公共下水道事業特別会計

下水道使用料

不納欠損の原因は

塩 史子議員

不納欠損額約45万円の内訳は。

林建設課長

主な要因としては本人が亡くなったたり、それに伴う相続放棄、転出して行方が分からなくなってしまう方が多くなっています。

下水道使用料

料金の算出方法は

渡邊正俊議員

井戸水を使って下水道に流した場合の算出方法は。

林建設課長

基本的には水道の使用量によって下水道料金を計算しています。



いつまでもきれいな町になるように

ふるさと応援寄附金

返礼品のあり方と農業の方向性は

渡邊正俊議員

昨年度総務省より30%の枠内での返礼品とするようにと連絡があり、報道によると、広野町は55%と聞かれている。
また、この応援寄附金によって広野町の特定の農業の特別栽培米という形で広野の農業に大変貢献し、作付面積も増えているが、どのような方向性で進んでいくのか。

遠藤産業振興課長

町の返礼割合は58%程でしたが、昨年度通知の3割を若干超えたところ、極端に寄附件数が落ちてしまい、関係者の皆さんに、大変ご迷惑とご心配をおかけする事態が生じました。
今年の取り組みは、復興道半ばということもあって、5割程度の割合でなんとか昨年以上の寄附件数を集め、また米づくり農家の皆さんの生産意欲向上につなげていこうと実施しました。今後相談し、取り組みについて検討していきたいと思っています。

固定資産税

不納欠損にならないための対策は

北郷幹夫議員

町税を不納欠損とするのは、所有者がいなくなっているのか、あるいは10年過ぎれば未収額を不納欠損とするのか。
また、相続を放棄して未納になった場合は未納分を差し押さえるとか、徴収することはできず不納欠損という方法しかないのか。
今後の対策の考えは。

遠藤町民税務課長

不納欠損を行うためには、納期限の5年を経過するまで滞納処分の処理をしていない場合、滞納処分をすることによって生活が困窮に陥る方で3年間執行処分の停止を行っても改善がみられない場合、滞納処分をした時点で、今後滞納分を払う見込みが全くない場合です。
また、相続放棄をしても資産があれば差し押さえは可能です。
それぞれ事情がありますので、こちらから働きかけを行い、事情をよく聞き、きめ細かい対応をしていきたいと思っています。

決算審査意見



黒田惣一代表監査委員

平成29年度における当町の財政状況は、広野火力発電所の大規模償却資産税が大幅に減少したものの、東日本大震災による特別交付税により比較的ゆとりある財政運営であるが、大規模償却資産税は、次年度以降の通減が見込まれることから、限られた財源の中で、事業の必要性、緊急性及びその効果等を十分に考慮し、計画的な財政運営と重点的かつ効果的な財源配分に努められた。

また、国民健康保険や介護保険といった2特別会計の医療や介護に対する給付費については、前年度より増額しており、依然として高い水準で推移していることから、保健事業や福祉事業等の成果を再検証するとともに、転入者からの国民健康保険税や介護保険料のしっかりと徴収事務を執行し、健康診査の受診勧奨や医療機関への早期受診による疾病の早期発見、早期治療、適正医療による重症化防止等により、歳出の削減に努めるよう強く望みます。



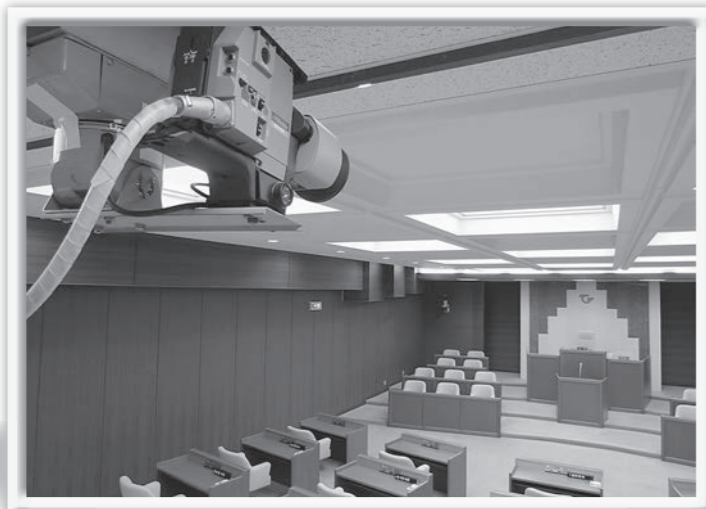
おいしく実る広野米

こんなことが決まりました

全会一致で可決

発議第1号

広野町議会映像配信システムに関する調査特別委員会を設置

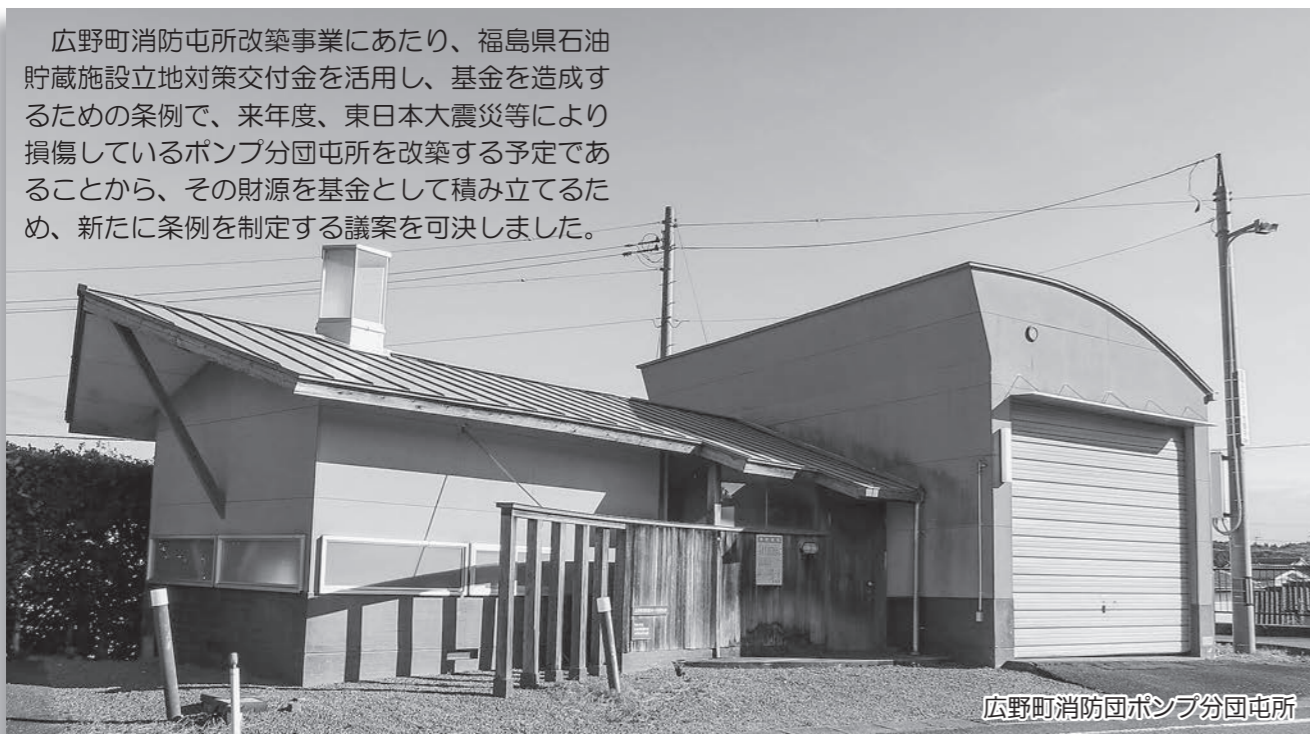


議会の様子を撮影しているカメラ

9月7日に開催された広野町議会運営委員会では、福島県内の議会映像の配信状況から、「広野町議会映像配信システムに関する調査特別委員会」を設置し、あらゆる角度から調査審議し、議会映像の配信についてを検討すべきであるということとなりました。
また、特別委員会の委員、委員長および副委員長を選任し、委員は議長を除いた議員9人です。

議案第49号

広野町消防屯所改築事業基金条例を制定



広野町消防団ポンプ分屯所

広野町消防屯所改築事業にあたり、福島県石油貯蔵施設立地対策交付金を活用し、基金を造成するための条例で、来年度、東日本大震災等により損傷しているポンプ分屯所を改築する予定であることから、その財源を基金として積み立てるため、新たに条例を制定する議案を可決しました。

一般会計と6特別会計合わせて 3億9086万円を追加補正

今回の補正は、財政調整基金積立金（町の貯金）9,626万2千円などが主な内容となりました。
これにより、一般会計は歳入歳出それぞれ2億5,964万円追加され、総額で64億3,817万円となりました。

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	2億5964万1千円	64億3817万7千円
国民健康保険特別会計	2107万7千円	9億5688万7千円
土地開発事業特別会計	896万8千円	8851万8千円
下水道事業特別会計	6637万円	3億1276万3千円
農業集落排水事業特別会計	379万6千円	3450万5千円
介護保険特別会計	3003万7千円	5億3822万7千円
後期高齢者医療特別会計	97万9千円	1867万5千円

橋の調査を計画的に

北郷幹夫議員

当町には古い橋がたくさんあるが、橋の耐用年数は決まっているのか。
一例を挙げると、南山から小滝平に抜ける浅見川に架かっている橋が狭くて距離も長く、危険と感じる。計画的に調査をしていただきたい。

林建設課長

現在行っている橋梁点検は、高度成長期時代に多く造られた橋の補修箇所を見つけ、補修しながら長寿命化を図る取り組みをしています。
小滝平の橋について点検をした結果、かけ替えをするまでの損傷はないという結果が出ています。

受診後の支援対策を図るべき

小磯利雄議員

双葉医療センターが開所し、広野町から何名の方が救急搬送されているのか。
また、入院治療が必要なく、帰って下さいと言われた時に、問題なのは一人住まいの高齢の方や、一人住まいの町民である。
夜中などでは帰る手段がなく、町として対応策があってもよいのではないが。

飯島健康福祉課長

平成30年4月23日から6月30日までは、広野町から40人が利用しています。
町外の公共機関、病院等に受診する場合には外出支援サービスを行っており、時間帯等の問題もあろうかと思いますが、入院から退院した後の福祉の切れ目ないサービスの提供等も踏まえて、今後検討していきたいと思えます。

見守りGPS購入補助金

門馬巧議員

認知症見守りGPS購入等補助金は何名分の計上で、単価はいくらなのか。
これは想定のもとに予算計上したのか、あるいは家族をおとして要望があった分の計上なのか。
また、運用費等は発生しないのか。

飯島健康福祉課長

補助上限を1件あたり1万円としていますが、徘徊等が顕著な方に、この事業を活用させていただき、今後ご相談に対応するためと、プラス1件の合計2件で計上しました。
また、位置情報を受ける家族側の通信費は、個人負担となり、初期導入費用の部分を助成します。

- 総務文教常任委員会
- 8月24日（金）午前開催
- 調査件名
 - 広野駅東側開発
 - 広野工業団地・（仮称）東町地区産業団地整備事業
 - 広野町中学校本校舎での授業再開に向けた取り組み
- 【その他】
 - ・ 国産バナナ栽培事業計画

報告

を報告します

委員会

各常任委員会の活動状況

- 産業厚生常任委員会
- 8月24日（金）午後開催
- 調査件名
 - 防災拠点・道の駅造成事業
 - 少子化対策
- 【その他】
 - ・ 下浅見川地区営農再事業
 - ・ 広野町農地利用最適化推進委員
 - ・ 広野工業団地への企業進出
 - ・ 国産バナナ栽培事業計画

総務文教 駅 東側開発事業

復興企画課長より説明を受け、各委員からは、住宅用地の整備・販売計画、ホテルの経営及びPR活動、宅地分譲に対するPRの取り組みへの要望、駅東側開発区域内における墓地の確認、若者世代・子育て世代に対応する住宅分譲についての質疑がありました。

課長より、住宅用地の整備・販売計画については、工期は平成32年度末を目標に進め、販売は完成直後から可能と考えている。ホテルの経営及びPR活動は、Jヴィレッジの来場者と二ッ沼総合公園の魅力を駅東の点と結び関東圏からの相乗効果による集客を見込み、またPR活動もしていく。駅東側開発区域内における墓地の確認は、開発区域内に墓地は確認していない、若者世代・子育て

世代に対応する住宅分譲は、開発設計段階から町主導で実施する。未取得地についても町がしっかりと住民へ説明をしていく。との説明がありました。

委員会としては、地域住民や子育て世代の意見を取り入れた開発を進め広野町に「住みたい」・「子育てがしたい」と思ってもらえるよう若者世代にしっかりとPRするよう求めました。

総務文教 中学校本校舎での授業再開に向けた取り組み

学校教育課長より説明を受け、各委員から県立中学校との一本化、町立、県立中学校に対する支援要望、学校施設のエアコン設備充足率、県立学校進学に対する理解への要望についての質疑がありました。

学校教育課長より、広野中学校は存続しており、他町村で休校している学校に代わるものとしてふたば未来学園がある。町立の中学校とは分けて考えるべきで一本化の要請はしていない。町として町立の中学校を如何に魅力的なものにし入学してもらえるかを進めている。

学校施設のエアコン設備充足率は、幼稚園、小学校、中学校においてすべて設置しているが、体育館は未整備である。今後、文科省の補助金活用と町の財政を見極め適切に対応していく。との説明がありました。

委員会として、魅力ある教育の実現と具現化にしっかりと取り組むよう求めました。



幼稚園運動会

産業厚生 少子化対策

子ども家庭課長より説明を受け、各委員より、平成29年の婚姻数・離婚率は、小中学校入学祝い金支給時期、少子化対策に係る今後の検討事項は町内居住者を対象なのか、町外よりの移住者にも考慮され住宅の提供も合わせて検討願いたい、最後に婚活セミナー開催について質疑がありました。

町より婚姻数・離婚率は概数であり、確定次第お知らせします。入学祝い金は教育委員会の入学予定者名簿より申請書を上げて頂き、支給の形になっていきますが、なるべく早くできるようにします。少子化対策は、担当課として子育て支援より説明であるが、住宅施策等については、他の計画等でいきま、今後総合的に捉えていきます。婚活セミナーは男性をメイン

に外部講師を招き、その後町内外より女性を招きセミナーなど計画しています。

委員会として、今本町がおかれている厳しい状況下において、この問題に取り組みなくてはならないが、まだまだチャンスは充分あると思う。せっかくこの機会に、一つの足がかりとしてもっと解決策を見出してほしいと提言致しました。

総務文教

工業団地・（仮称）東町地区産業団地整備事業

復興企画課長より説明を受け、各委員から工業団地に進出する企業の事業内容について、産業道路の取り付け道路についての通信回線の環境状況について、工業団地の不動産鑑定・評価額、整備のあり方についての質疑がありました。

課長より、工業団地に進出する企業の事業内容については、石炭灰、クリンカー、鉄スラグを土木用資材として製品化する事業である。産業道路の取り付け道路については、除染廃棄物の運搬に仮設道路が環境省事業により移設されているが、町道の基準に合うよう設計が完了している。工業団地・産業団地の通信回線の環境状況については、総務課長より、住宅整備および工場の進出があるので関係箇所には支援の要望をしている。工業団地の不動産鑑定・評価額、整備のあり方については、復興企画課長より、復興企画課長は町の財産なので分筆している。平成29年度に鑑定した評価額は変わらず、構内道路や排水の整備は、工業団地の拡張を考えると町負担で整備していく。との説明がありました。

産業厚生

防災拠点・道の駅造成事業

建設課長より説明を受け、各委員より、単価などより地権者合意の問題はないのか、山林他構造物の物件移転について詳細な説明を求める質疑がありました。

町より、単価を原因とする理由では無く、合意に至らぬ数名の方がいますが、合意に向け交渉中ですが、当該地は山林が主であり、立ち木の補償が物件移転補償となりませんが、他に補償対象は、セメントサイロの構造物ですが、構造物については、専門的資格を持ったコンサルタントに依頼し、設置する費用、移転する費用、電気等使用料、営業補償等すべて調査の元、積算し金額を出しています。





北郷幹夫 議員

駅西側再開発

北郷 広野駅舎を含む駅西側地区の再開発を計画している町は、JR東日本と協定を結び、老朽化が進む駅舎の再整備、町民や有識者による検討委員会を設置すると、新聞報道がありました。そこで、検討委員会の設置を含め、現在の推進状況はどのようになっていますか。また、計画はどのよう

現在の進捗状況および計画は

町長／検討会設置し整備に取り組み

町長

6月19日に検討委員会を設置しました。事業計画は、今年度に、トイレ整備や、検討委員会での、駅舎の新築か修繕かの決定等、平成31年度に、エレベーター設置に関する設計協定締結や駅舎整備基本設計、平成32年度に、エレベーター設置工事、駅舎実施設計、平成33年度、駅舎整備や駅西口広場設計、平成34年度、駅西口広場整備に取り組みしていきます。



図書室脇に設置中の回収ボックス

リサイクル

北郷 町では、古紙類収集や、古着のリサイクルボックス設置等、資源の有効活用を図り、国では、使用済み携帯電話、パソコン等を回収し、鉄や銅、金や銀などを取り出す、再資源化の事業を展開していますが、小型家電の回収に向けた考えはありますか。

小型家電回収に向けた考えは

町長／今後協議をしていく

町長

小型家電リサイクル法に基づく、廃棄物処理や有効利用について、今後協議をしていきます。なお、東京2020大会で使用するメダルに、使用済み小型家電の金属から製作する取り組みに賛同し、役場一階図書室脇に回収ボックスを設置していきます。

町長

①空き家バンクの創設に向け対応を検討していきます。②管理不全が著しい所有者に助言や指導などをを行い、解体を促す補助制度の制定に向け検討していきます。③空き家を所有する上でのリスクや責務などの知識の啓発を図り、相談窓口や空き家バンクの設置等に向け検討していきます。

空き家対策

増加に歯止めを

町長／空き家バンク設置等検討していく

北郷 空き家が全国的に増加し、景観、防犯、防火対策が深刻になってきていますが、①実態調査は実施していますか。②支援策として、解体補助金制度を制定する考えはありますか。③所有者等による適正管理の推進、利活用促進などの対策を立て、空き家の増加に歯止めをかけるべきではありませんか。

追跡レポート

あの質問 どうなった?

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか? どう町政に反映させているのか、対応を追跡しました。

●平成30年6月定例会 ●一般質問

北郷 幹夫 議員

集約して活用を図るべき

各課の制度を1冊のパンフレットに集約することで、内容を理解し活用しやすくなるのではありませんか。

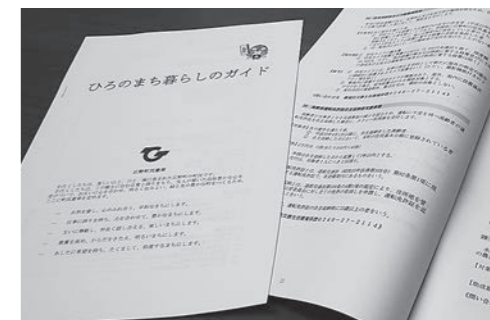
パンフレットを作成・配布します

各種制度を1冊に取りまとめたパンフレットを作成し、各世帯に配布するようにします。

「ひろのまち暮らしのガイド」完成

9月に、各種助成金、補助金、手当などの制度をまとめた「ひろのまち暮らしのガイド」が完成し配布されました。

また、町のホームページにも、制度や手続きなどが掲載されています。



一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席 (広野町議会議場)

一般質問



門馬 巧 議員

適正な配置・採用と育成は

町長／復興創生期間終了後に見直し検討

門馬

将来を見据えた事務量と職員の適正な配置や、採用・育成について、
①震災から10年となる平成33年時点での人口予測と、根拠を求めます。
②人口の減少を考慮した政策・業務遂行する職員定数の見直し等も考慮すべきではありませんか。
③今年3月定例議会では、来年度から実現するのですか。

町長

①第五次広野町町勢振興計画において、雇用創出、住宅施策事業等を展開することで、平成37年の人口を5千人としています。
②復興創生期間終了後に見直しを検討します。
③平成33年度から平成34年度に職員派遣を予定しています。

事務量と職員

児童虐待防止

対策へ向けた方針は

町長／切れ目なく支援する体制をつくる

遠藤

今後、若者世帯や子育て世代が移り住む事が想定され、一刻も早い虐待防止推進への取り組みが必要であると考えますが、
①子どもの命がなくなるような痛ましい事件を起こさないための児童虐待防止対策に向けた方針は。
②文科省と厚生労働省が学校・保育所から市町村等への定期的な情報提供に関する指針を示していますが、当町にもこの指針のような

取り決めや、情報交換が行われているのですか。
③児童相談所全国共通ダイヤル「189」（いち早く）の周知・啓発への取り組みは。

町長

①安全確保を最優先に、早い段階から予防に努め、地域のつながり、迅速な対応、虐待を受けた子どもの自立支援等、切れ目ない支援体制をつくります。
②こども家庭課より教育委員会へ定期的な情報提供を依頼し、必要に応じて個別ケース会議等を開催しており、取り決めはしています。
③ポスターや役場庁舎電光掲示板での啓発、広報紙への掲載や虐待防止のボールペンを作成して学校等関係機関に配布し周知・啓発に取り組んでいます。

遠藤 浩 議員

生活林道

支障枝葉の伐採除去・手入れを図れ

町長／車両通行が危険な場所を実施していく

門馬

日常的に使用されている生活林道に、規定よりはみ出した支障枝葉がある路線があるが、
①支障枝葉を、計画で継続的に伐採除去を図る事は出来ないか。
②交通の安全安心、緊急車両等の通行等、災害への備えと道路環境の改善を図る本施策を是非講じて頂きたい。
③継続的な手入れと枝葉の除去を図るべきではありませんか。

町長

①除去が必要な所は限定され、広範囲に渡ることには無いことから、これまで通り、車両の通行が危険と思われる所を実施していきます。
②民地からの支障枝葉はあくまで所有者の財産であり、責任を持ち適正に維持管理をしていただくか、道路管理者が伐採をするかをそのつど協議判断し実施していきます。
③町道、農道、林道等生活道路は同様に対応していきます。



写真はイメージです

門馬

障害者雇用促進法により、民間企業が2.2%・地方自治体2.5%・都道府県教育委員会2.4%以上を雇用することとなっている。本町はこの数値はクリア出来ているのですか。
町長 障害者の雇用の促進等に関する法律に基づき、今年度、本町の雇用率は3.9%で、国で定める法定雇用率2.5%を満たしています。

障害者雇用

法による数値はクリアしているか

町長／法定雇用率を満たしている

いじめ防止

基本方針の早急な取り組みを

教育長／早期発見・迅速な対応に取り組む

遠藤

いじめ防止対策推進法のなかで、地方公共団体が実施すべき施策を定めており、町は条例を制定し、ホームページに掲載してありますが、いじめ防止基本方針そのものがあまり認識されていません。基本的な理念や体制を示す「いじめ防止基本方針」を早急に周知し、広く理解していただく取り組みが必要と考えます。

教育長

いじめの問題への取り組みの重要性は、町民全体に認識を広め、地域、家庭が一体となって取り組みを推進する普及啓発が必要です。引き続き、小中学校との連携を密にし、いじめによる事態が発生することのないよう、早期発見と迅速な対応に取り組めます。

ドクターヘリ

文教施設以外の離着陸場に

町長／協議しながら取り組んでいく

遠藤

ドクターヘリの離着陸場に指定されている総合グラウンドの周囲には小学校や児童館、保健センターが隣接し、今後認定子ども園、高校本舎が完成すれば、一大教育エリアとなりますが、万が一、航空事故が発生した場合に被害は甚大なものと考えます。

町長

子どもたちの安全のためにも、文教施設を除く別の場所に移すべきではありませんか。
事業主体の公立学校法人福島県立医科大学付属病院及び双葉地方広域市町村圏組合と協議しながら取り組んでいきます。

一般質問



門馬まりえ 議員

高齢者福祉

制度を分かりやすく・サービスを受けやすく

町長／趣旨普及・構築に努める

門馬 介護保険事業計画では、各地域で地域包括ケアシステムの構築をさらに進め、深化推進を図ることを課題とあ...

町長

①「生き生き百歳体操」などの各種イベント開催時に掲示し、制度の趣旨普及に努めていきます。

不妊治療

費用を助成する考えは

町長／前向きに検討する

門馬 日本産婦人科学会によると、不妊は約10組のカップルに1組と言われており、当町にも不妊治療に取り組んでいる御夫婦が生活していると思いますが、

町長

①不妊治療費助成の相談があった折、県との連携に基づき、県の助成事業である「福島県特定不妊治療費助成事業」で対応しています。

今後どのように動くつもりか

町長／慎重に検討しよう

圏域連携

門馬

新聞では、「圏域連携」のまちづくりを促進するため関連法の整備などを急ぐとの記事がありましたが、今後どのように動いていくのか、圏域連携について考えを伺います。

町長

政府が進める圏域の単位は、20万人以上の中核都市を中心に近隣の市町村が一体となった生活圏等を形成する合併を前提としない内容です。

標識・道路表面処理の対応を

町長／関係機関と対応し、慎重に取り組む

速度制限

北郷

町道正木内線は信号機が一つも無く、スピードを出して下る車も少なくないようです。子供や高校生も少しずつ増えてきて、通勤・通学にも注意が必要となってきています。

町長

①速度制限標識の設置について、県公安委員会、関係機関と協議し対応します。

安全確保と協力を

教育長／万全を期して取り組む

通学路

北郷

徒歩通学者の通学路の安全は確認されていますか、通学路を広く町民に知ってもらい協力を得ることも考えられるのではないですか。

教育長

震災以前の通学形態への準備を進めており、通学路の安全確認は、広野町通学路交通安全推進会議を設置し、危険箇所について協議をしています。

災害時対応

備蓄品等の使用基準は

町長／生活必需品等を備蓄

北郷

①日本各地域で大規模な自然災害が発生しているが、東日本大震災による災害を踏まえ、当町における災害発生時の対応はどのようになっているのですか。

町長

①気象台・県のホットライン等の情報を踏まえ、防災行政無線やエリアメールによる注意喚起、早期避難所開設、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示を発令し適時的確に対応します。

また使用基準は、緊急時の生活を支援する備蓄品の適正な確保、管理に努めています。



北郷伯弘 議員



速度とマナーは守りましょう

一般質問

一般質問



阿部憲一 議員

トリチウム 危険性を認識せよ

町長／継続して求めていく

阿部 トリチウムは体内で有機結合型トリチウムになると、DNAを構成する塩基の内部の水素や塩基同士を結合する水素と入れ替わって遺伝情報自体を書き換える、全身で。加えて、トリチウムはヘリウムに変わることで塩基を破壊し、塩基結合をバラバラにする。その細胞が分裂して癌や奇形などを引き起こす。

町長 ①国の責任のもと、丁寧で科学的な知見の説明と、環境や風評への影響を議論し、地元への理解を最優先に、方向性を慎重に検討していくことを継続して求めていきます。

②除染事業の情報収集や精査、効果的な線量低減等の分析及び評価を行い、町内の環境回復、町民の早期帰還の環境整備を図ることができ、同委員会の解散は、考えていません。

道の駅

建設を懸念している

町長／十分に検討し整備を進める

阿部 ①確たる勝算もないのに計画を進め、既に何億円も使っている。毎年4千万円もの支出の二ツ沼総合公園に加えて、また負の遺産になると町民は案じている。事業を一旦中止し、確たる収支の見通しを町民に示すべきでは。

町長 ①民間活力の導入、ノウハウや創意工夫を管理運営に反映し高質なサービス提供することで、健全な経営ができるよう十分に検討し整備を進めていきます。

阿部 ①避難者に対して生活の実態調査や必要な支援をせよと求めているが、何もしようがない。違うのであれば、その理由は。

町長 ①アンケート調査、金交付相談支援、プレミアム商品券、高速道路無料化など取り組み、現在も避難している方の、訪問活動に取り組んでいます。

②町民への差別はありません。住民の福祉向上に取り組んでいます。

避難者支援

計画を凍結すべき

町長／町民の意志受け止め報告しつつ

北沢地区火葬場建設

小磯 ①双葉郡民7万5千人が戻ることを前提とした根拠は。

町長 ①広域圏組合事務局で、帰還されている住民、復興事業等に伴う新規住民、郡外に避難している住民を含め総合的な観点から、震災前の郡内人口相当を想定しました。

小磯 ①救急搬送データの分析結果と、高齢者対応は。

町長 ①一般負傷、急病の割合が高い状況で、一緊急医療情報キットの配布、緊急通報装置の貸与事業を行っています。

その他の質問
平成29年度決算 公平な納税と福祉の増進は
町長／きめ細かな対応をしていく

を策定するとともに、相談しやすい環境づくりを推進し、関係機関との連携を図ります。



小磯利雄 議員

国産バナナ

計画と将来性は

町長／需要拡大を見込んでいる

小磯 国産バナナ栽培事業計画について、

町長 ①昨年度末で約4,400万円です。

ライセンズ料は発生せず、無償で国産バナナ栽培技術の指導を受けられます。販路はJA福島さくらなどと協議しており、販路が無い場合でもGPFファームが1本300円で買取りを行う、D&Tファームは、昨年売上高約6億6,000万円です。また、GPFファームは設立間もなく、今期収穫期を迎え、売上が計上されます。

“ふる里復興・再生から前進”への支援を要望

要望活動



“日本一元気な町づくり”実現への強力な後押しを要望

7月26日から2日間にわたり、町議会議員および町長と共に、関係省庁の大臣、政府与党の国会議員、東京電力ホールディングス(株)に対して、要望書を手渡しました。

復興庁・東電へ要望書を提出

- 【要望先】
- | | |
|--------|-------|
| 復興大臣 | 吉野正芳 |
| 環境大臣 | 中川雅治 |
| 経済産業大臣 | 世耕弘成 |
| 公明党代表 | 山口那津男 |

- 【要望事項】
- 復興推進体制の継続について
 - 保険税(料)及び一部負担金等の免除に対する財政支援について
 - 高速道路無料措置の継続について
 - 医療、介護・福祉体制の充実について
 - 廃炉・除染従事者等との共生について
 - 東町地区産業団地(仮称)の整備等について
 - 高効率石炭火力発電所(IGCC)の立地に伴う新たな交付金制度の創設について
 - 「防災拠点・道の駅ひろの」(仮称)の整備への財政支援について
 - JR広野駅周辺整備について
 - イノベーション・コースト構想の推進について
 - 大学等の「復興知」を活用した福島イノベーション・コースト構想促進事業の継続について
 - 放射線健康対策について
 - ふくしま森林再生事業について
 - 追加的除染について
 - 農業用ため池の放射性物質対策の拡充について
 - 農産物風評払拭への支援について
 - 農地・農業用施設維持管理への支援について
 - 小・中学校教諭の復興推進加配の継続について
 - スクールバスの運行支援の継続について
 - 国道6号の総合的な交通安全対策について

- 【要望先】 東京電力ホールディングス株式会社 小早川智明

- 【要望事項】
- 福島第一原子力発電所等の安全対策の徹底と着実な廃炉、適時適切な情報提供について
 - 福島第二原子力発電所周辺自治体との安全確保に関する協定書の締結について
 - 広野火力発電所の発電規模の維持と、早期運転再開について
 - 被害者や地域の実情を踏まえた賠償及び地方公共団体に係る賠償への対応について
 - 広野町と東京電力ホールディングス(株)との協調関係の継続について
 - 石炭ガス化複合発電(IGCC)設備の早期運転開始について
 - 関連企業の事業所及び住居の町内への設置について

一般質問



渡邊正俊 議員

仮設住宅

渡邊

仮設住宅の入居期限が終了し、仮設住宅は順次取り壊すと聞いていますが、現在の取り壊しの状況はどのようになっていますか。

町長

①避難者の退去が確認された仮設住宅は、平成29年10月より順次撤去が進められ、現在は中央台高久応急仮

現在の取り壊し状況は

町長／順次撤去工事が進められている

設住宅、四倉鬼越応急仮設住宅の一部、町内にある下浅見川、下北迫応急仮設住宅を残すのみとなっています。今後、下浅見川、下北迫応急仮設住宅は、本年11月から撤去や原状回復工事が行われる予定です。中央台高久応急仮設住宅、四倉鬼越応急仮設住宅の一部につきましては、未退去者の対応により取り壊し時期は未定となっています。



撤去を待つ下浅見川仮設住宅

虐待防止対策

渡邊

虐待の未然防止、早期発見の観点から、保育園や幼稚園に通っていない幼児や未就学児の把握が重要と考えるが、未就園、未就学児の把握と支援体制はどのようになっていますか。

町長

子どもの出生後一か月以内に各家庭を訪問する、赤ちゃん訪問を始め、乳幼児健診、予防接種の記録等から把握を行っています。支援策につきましては、子育て世代包括支援センターにおいて、妊娠期から子育て期にわたる総合相談や、支援を必要とする妊産婦・乳幼児等の把握に努め、児童虐待の予防や早期発見に取り組み、保育園や幼稚園に通っていない、未就学・未就園児を対象とした「げんキッズ」や離乳食教室等を開催しています。虐待の未然防止や早期発見には、地域住民との協力連携が不可欠であり、地域で子どもを守り、育てる体制づくりに取り組んでいます。

未就園・未就学児の把握と支援体制は

町長／地域で守り育てる体制づくりに取り組む

平成30年7月1日～平成30年9月30日

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無：無記名投票 ※議長は採決に加わりません。

○：出席 ×：欠席 △：遅刻、早退 -：員外 巾：巾事 研：研修 公：公務 病：病気等

Table with columns for date, day, meeting name, and attendance of 10 council members (阿部憲一 to 塩史子). Rows include various meetings from July to September.

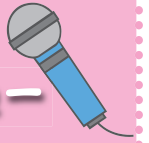
※今回は町内において開催された会議等を掲載しています。このほかにも広域圏組合やJヴィレッジ、水道企業団等が主催する会議や式典にも出席しています。

平成30年9月 第3回定例会

Table for the 3rd regular meeting in September 2018, listing 33 proposals (議案第48号 to 第63号) with their respective dates, results, and member votes.

出欠状況

審議結果



まちかど ま インタビュー

町民と議会をむすぶ 議会広報に望むことは？

議会では各定例会ごとに議会だよりを発行していますが、それに対する意見や、要望をお聞きしました。



阿部 友示 さん
(上浅見川)

平日は店の営業があるので議会の傍聴に行けません。活発なやり取りがあると窺っています。

ただ、公務などをこなすことが議会の仕事になっているのではこの声もお客さんから聞かれます。

町の実際の課題はごういっことがあるのか、議会ではどう取り組んでいるのか、その辺りももっと分かりやすく

るといいのかなと思います。

「議会だより」のごくでは、一般質問が最初の質問と町長の答弁だけ掲載となつていますが、その後の深まったやりとりが肝心なので、善処をお願いしたいと思います。



田村 弘一 さん
(上浅見川)

皮ごと食べられる「もんげーバナナ」の実証実験を広野町振興公社のハウスで始めてお

りまして、何よりこの特産化の仕事に専念しているところ

です。

町議会への要望としては、このPRなどに力をお貸しいただければありがたいですね。

寒さに強い種類で、東北での栽培は初めてですが、失敗は許されません。

町議会でインターネット発信をされる際には議会のことだけではなく、こうしたPRもお願いできればありがたいです。

また、町民に開かれた議会をよろしく願います。

編集後記

地球温暖化の影響なのか、記録的な猛暑となった今夏、県内でも7月中旬以降に各地で猛暑日を記録しました。

また、全国各地で豪雨、台風、地震と災害が相次ぎましたが、皆さんは、体調を崩したり被害はなかったでしょうか。

秋の夜長、散歩をしていると足元からは涼やかな虫の音、空を見上げれば美しい星月夜、夏から秋へと移りかわっていくのを感じます。

これからは、寒さに向かうので健康に十分気を付けてお過ごし下さるようお祈りします。

当広報委員会は「議会の内容を正しく」「わかりやすく」、そして「町民のみなさんに「読んで頂ける」広報

誌づくりの編集に取り組んでいきますので、これからも広報誌づくりについて、皆さんのご意見、ご感想等のご協力をお願いいただければ幸いです。

(北郷、幹夫)



実りの秋 (ガマズミ)

発行・編集責任者

議長 黒田政徳

広報委員会

委員長 塩 史子

副委員長 阿部憲一

委員 北郷幹夫

委員 小磯利雄

委員 遠藤 浩

次の定例会は12月です